

# 日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ)

## 2020 年度 事業報告書

(2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日)

### 【2020 年度の全体総括と報告概要】

コロナ禍という環境の元でむかえた 2020 年度は、新たな役員（理事 5 名、監事 1 名）でスタートした。浜松市のフェアトレードタウンの更新および、フェアトレード大学として初めての更新申請が、静岡文化芸術大学からあった。また関東エリアでは初となる青山学院大学を、フェアトレード大学として認定した。

FTFJ が主宰するオンライン交流会を 2 回実施。また、各地のフェアトレードタウンおよびフェアトレードタウンを目指す団体のイベントも非常に活発に行われ、5 月のフェアトレード月間には、フェアトレードラベルジャパン主催のキャンペーンに、6 つのフェアトレードタウンと共に協力し、フェアトレードタウン運動を盛り上げた。市民社会にフェアトレードの普及と啓発に大きく寄与し、新たにフェアトレードタウンやフェアトレード大学の認定を目指す動きも活発化している。

さらに、組織基盤を強化するため、認定委員との意見交換会を経て、大学の認定更新フォームの変更や基準の検討に着手、IT ツールを活用することで、事務の効率化を行った。また、昨年度の総会で選任した理事一名が諸事情により、承認しなかったため、理事 5 名、監事 1 名体制で運営を行った。今事業年度には、理事会を 12 回開催した。

また、本事業年度終了時の会員の状況は以下の通りとなっている。

	個人	組織	フェアトレードショップ	合計
正会員	26	17	3	46
賛助会員	7	8	2	17
合計	33	25	5	63

定款第 4 条（事業）の分類に従って、2020 年度は以下の事業を報告します。

### 1) フェアトレードの普及および啓発に関する事業

#### (1) フェアトレード全国フォーラム 2020

予定されていた設立 10 周年の記念イベントのフェアトレード全国フォーラムは、熊本市の「フェアトレードタウン 10 周年記念イベント」の開催時期に、合わせて開催する予定となっていたが、コロナの蔓延や諸事情が重なり、見合わせた。（熊本の 10 周年事業は 11 月 13 日に開催予定）

#### (2) フェアトレードタウン、フェアトレード大学等を広げるための情報発信

フェアトレードタウン、フェアトレード大学等を目指す人に行動を促すための情報提供を充実すべく、ウェブサイトの更新を実施した。6 つのフェアトレードタウンと 3 つのフェアトレード大学の活動紹介のページを設けた。ウェブサイトの「新着情報」と FTFJ フェイスブックページで、各地のフェアトレードイベントやフェアトレードに関連する情報を発信した。

5 月のフェアトレード月間には、各地の情報をタイムリーにアップするページを作成し運用した。また、チャットボックス機能を追加するなど、閲覧者にとって親切な設計を加えた。

ウェブサイトは、更にブラッシュアップしていくために、様々なステークホルダーから聞き取りを行い、継続的に取り組む予定である。

#### (3) オンライン交流会イベントの開催

昨年に引き続き、会員を中心としたオンライン交流会を実施した。コロナ過であるためオンライ

ンに制限されたが、それによって参加者が全国に広がり活性化した。イベントを機に FTFJ への入会申込みを 5 名/5 組織からいただき、今後の活動活性化への足掛かりを得た。

○FTFJ 第 3 回オンライン交流会 2020 年 11 月 29 日 (日) ZOOM にて開催 参加者 63 人

「日本のフェアトレードタウンってどんな街？バーチャルで FTT 6 都市を旅してみよう」

6 つのフェアトレードタウン (熊本市・名古屋市・逗子市・浜松市・札幌市・いなべ市) をオンラインで結び、その都市の良さを交えて、交流イベントを開催した。

○FTFJ 第 4 回オンライン交流会 2021 年 2 月 13 日 (土) ZOOM にて開催 参加者 52 人

「フェアトレード大学」未来のカタチわかものがフェアトレードを考える！ディスカッション  
～フェアトレードでつくれる未来ってなんだ？～

大学全体でフェアトレードを推進する「フェアトレード大学」に認定され 3 つの大学を中心に SDGs (持続可能な開発目標) 達成の行動につながるフェアトレード活動が、大人も学生も共に取り組んだらどんなことが起こるのだろうか？社会にどんなインパクトを与えられるのだろうか？と 3 つのフェアトレード大学の学生と参加者で議論を行った。

(※一般社団法人日本エシカル推進協議会が主催する「JEI エシカル・サミット & ウィーク 2021」のプログラムの中で開催された)

#### (4) 各地のフェアトレード・イベントでのセミナー開催/後援/登壇

各地のフェアトレードタウンやフェアトレード大学の取り組みが活発になり、フェアトレード月間を中心に、それぞれの団体が主催するイベントも増えた。また、今後フェアトレードタウンを目指す自治体も増え、FTFJ としても開催にあたっての後援や登壇など積極的にサポートした。

○世界フェアトレード大学シンポジウム (10 月 24 日)

フェアトレード大学の意義を議論するため英国から 1 大学日本から 3 大学が参加し、各大学の取り組みやその効果などについてオンラインで議論。

<ミドルセックス大学※・札幌学院大学・北星学園大学・静岡文化芸術大学>

※ミドルセックス大学 フェアトレード賞の最高レベルである 3 つ星のフェアトレード大学およびカレッジ賞を受賞したロンドンの大学

○世界とつながるフェアトレードフォーラム in SAGA (12 月 1 日)

<NPO 法人愛未来>

○シネマ・エ・マルシェ 未来つなぐ PROJECT (9 月 25 日/10 月 16 日/12 月 4 日)

<NPO 法人フェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN) >

○「2 つの『まち』のフェアトレードタウンづくりに学ぶ」(12 月 12 日)

<あどぼの学校運営委員会>

○フェアトレードと SDGs の未来 vol.6

～サステナビリティ最前線&フェアトレードタウンの先輩に尋ねる～ (1 月 27 日)

<フェアトレードむさしの>

○「フェアトレードタウンなごやのススメ」(1 月 30 日)

<名古屋市>

- 「思わず誰かに伝えたくなる フェアトレードチョコのおはなし」(2月6日)  
  - <札幌市環境プラザ、フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議>
- JEI エシカル・サミット & ウィーク時代は“EX (Ethical Transformation)”  
  - ～”真”の豊かさを未来へ～ (2月8日～13日)
  - <(一社)日本エシカル推進協議会>
- 第一回 フェアトレード大賞 with 小川珈琲、ピープルツリー  
  - ～私の声を聞いて!～ (2月10日/2月24日)
  - <FTSN 関東高校生支部>
- 世田谷サステナブル・ラボ vol.1 (3月13日)  
  - <フェアトレードタウン世田谷推進委員会>
- フェアトレード展示会 @カフェアタント (5月1日～31日)  
  - <いなべフェアトレードタウン>
- 世界フェアトレード・デー記念、くまもと・フェスタ 2021 (5月8日)  
  - <熊本フェアトレードマルシェ連絡会議 >
- フェアトレードデイ垂井実行委員会 オンライン講座
- 世界フェアトレード・デー・なごや 2021 コーヒー・サミット (5月8日)  
  - ～世界とつながるおいしいコーヒーから、やさしい未来をかたろう～
  - <世界フェアトレードデーなごや実行委員>
- 世田谷おいしいもの巡り 2021～スマイルプロジェクト～ (5月8日～31日)  
  - <フェアトレードタウン世田谷推進委員会>
- フェアトレードと SDGs の未来 vol.9 【世界フェアトレード月間特別企画】  
  - 「フェアトレードタウン・フィラデルフィアとの交流&フェアトレード調達」(5月9日)
  - <フェアトレードタウンむさしの>
- “北九州のエシカル種まき人” — SDGs×フェアトレード×エシカル — (5月15日)  
  - <北九州エシカル推進ネットワークーエシカル種まき隊>
- フェアトレードフェスタちば 2021 連動企画  
  - 地域と世界の笑顔をむすぶ ちばフェアトレードコーヒー座談会 (5月15日)
  - <フェアトレードちば>
- 地球・おもいやりマルシェ (5月16日)  
  - <フェアトレードタウン宇都宮をめざす会>
- フェアトレードフェスタちば 2021 連動企画  
  - 世界も地域も、いっしょに豊かなまちにしよう! (5月20日)
  - <フェアトレードちば>
- 「城下町金沢とフェアトレード」～金沢のまちをフェアトレードタウンにしよう～ (5月22日)  
  - <フェアトレードタウン金沢推進委員会>

- フェアトレード地産地消フェスタ（7月31日）  
     <フェアトレードがつなぐ未来 ダブルポートとまこまい>
- フェアトレードフェスタちば（5月1日～30日）  
     <フェアトレードちば>
- 「フェアトレード ミリオンアクションキャンペーン 2021」（5月1日～30日）  
     <フェアトレードラベルジャパン>
- フェアトレード×ローカルランチキャンペーン 2021（5月1日～31日）  
     <逗子フェアトレードタウンの会>
- フェアトレードフェスタオンラインさっぽろ（6月26・27日）  
     <フェアトレードフェスタ in さっぽろ>

## (5) フェアトレード普及のための教材提供

各地の推進組織が作成したプログラムをブラッシュアップして汎用性を持たせることを目指しているが、2020年度は特に進捗なし。

## 2) 国内および国際的なネットワーク事業

### (1) 国際／国内フェアトレードタウン・ネットワーク等への参加

- 「世界に対して日本のフェアトレードタウン運動を代表する「national coordinator」に、これまで務めていた渡辺顧問に変わり、小吹監事が就任した。(9/21)
- Fairtrade Fortnight@韓国京畿道にてプレゼン（10/30）

韓国京畿道で開催された Fair Trade Forum and Fair Trade Fortnight 2020 に参加。イギリスのブルース氏が基調講演、他にタイ、インド、そして日本からは小吹監事が、今年はコロナ禍のためビデオで参加。韓国はフェアトレード・タウン運動を始めたのは日本に遅れたが、その広がりスピードは速く、すでに 13 の FT タウンと province、FT 大学や FT スクール、企業や教会まで認定されている。

- FT Town National Coordinator Meeting @Zoom（11/19）

日本を含む 40 カ国の担当者が参加し、各国の現状を確認。2020 年 10 月末時点の世界の FT タウンの数は 2064。そのうちヨーロッパが 1938 と圧倒的多数。FT 大学は 222、FT スクールは 1928。会議の様子は FB を通じて発信した。

## 3) フェアトレードの理念を実現するための政府・企業セクターへのアドボカシー事業

### (1) フェアトレードに関心を持つ企業への働きかけ

- ・共感資本社会の実現を目指す新しい貨幣 eumo コインに連携した「フェアトレードコイン」について、担当者とは意見交換を行った。
- ・フェアトレード商品を探す事業にむけて、「スーパーデリバリー」社（商品卸サイト）がフェアトレード推進月間に合わせてフェアトレードの専用ページを作ったのでフェイスブックにて紹介した。

### (2) フェアトレード調達普及

フェアトレードタウンである名古屋市役所が物品等を調達する際に、環境にやさしい商品や事業者

を選ぶ指針となる「名古屋市グリーン購入ガイドライン」にフェアトレードに関する記述が2021年4月から加えられた。

「制服・作業服等」、「帽子」の区分では、判断の基準として、使用される繊維（天然繊維及び化学繊維）のうち、ポリエステル繊維または植物を原料とする合成繊維を使用した製品については、満たすべき要件の選択肢の一つとして、「綿を30%以上使用した製品については国際フェアトレード認証を取得」

また、「食堂」の区分では、配慮事項として「食堂で使用する食材等は、地域の農林水産物の利用の促進に資するもの又はフェアトレードの認証を受けていること」

#### 4) フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学等の類似イニシアチブの推進に関する事業

##### (1) フェアトレードタウン／フェアトレード大学運動の普及

フェアトレードタウンやフェアトレード大学を目指す各地の推進団体や個人の情報交換の場やネットワーク作りのため、「フェアトレードの普及・啓発」の項で報告したイベントの実施や協力を行った。その他、各地の団体へフェアトレードタウンについての説明などを行った。

- ・8月24日（月）金沢市フェアトレード勉強会オンライン
- ・10月17日（土）三重県環境学習センター「環境基礎講座フェアトレードタウンについて」
- ・10月31日（土）金沢市フェアトレード講座
- ・12月3日（木）消費者庁エカ・オンラインポジウム「フェアトレードタウンなごやについて」
- ・12月21日（月）坂出市 坂出商業高校の皆さんと町の方々「フェアトレードタウン作り」
- ・3月26日（金）エシカル甲子園2020（徳島県）審査員
- ・4月25日（日）世田谷区 サスティナブル・ラボ（フェアトレードタウン世田谷）参加
- ・5月8日（土）苫小牧市にて「フェアトレードがつなぐ未来 ダブルポートとまこまい」設立
- ・5月9日（日）フェアトレードむさしの「5月のフェアトレード月間セミナー」参加
- ・5月15日（土）北九州市 「エシカル種まき人オンラインセミナー」参加
- ・5月20日（木）フェアトレードちば「フェアトレードタウンを目指す」参加
- ・5月22日（土）金沢フェアトレードセミナー オンライン「フェアトレードタウン金沢推進委員会」設立
- ・7月7日（水）大府市にてフェアトレード勉強会「おおぶフェアトレード推進委員会」設立

##### (2) フェアトレードタウンまちづくり事業

フェアトレードタウンに認定してからは、FTFJ としてのサポート体制があまり充実しておらず、支援がほとんどできていなかった。フェアトレードタウンをより活性化させていくために、外部人材とのマッチングを行い、同時にFTFJの収益事業として取り組むことを検討した。今年度は事業の構築に向けて、はままつフェアトレードタウン・ネットワークの代表に事前インタビューを行い、骨子を固めた。2021年度にはスタートさせる予定。

#### 5) フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学等の類似イニシアチブの基準等の策定ならびに認定に関する事業

##### (1) フェアトレードタウン／大学の認定・更新

### 【フェアトレード大学認定】

青山学院大学 大学申請認定（2021年5月14日）

※対外的な発表は2021/7/1

関東圏では初のフェアトレード大学認定であり、「青山学院大学フェアトレード憲章」を策定し、「青山学院大学 フェアトレードの取り組みについて」と題した学長表明をHPに公開している。18,000人余りの学生を擁する大規模大学の認定は、他大学への刺激になると期待される。6月にプレスリリース配信サービスの「PR times」の利用を開始したことから、本件についてプレスリリースを配信した。

### 【フェアトレードタウン認定更新】

静岡県浜松市（2020年12月20日）

### 【フェアトレード大学更新申請中】

○静岡文化芸術大学 更新認定審査中（2021年6月18日申請受付）

## (2) 認定更新の制度見直し

### ○認定委員の選任

定款第42条に基づき、11月17日の理事会にて9名の認定委員の過去2年間の実績に鑑み、全員を再任した。

### ○認定委員会との意見交換

認定委員長の長坂氏より2月16日に認定のプロセスと含む改善提案が提出され、2月25日に理事会と認定委員との意見交換の場を持った。

コロナ下におけるオンライン調査や、大学の認定更新基準の確認や、フォーマットの修正など業務にスムーズに取り組めるような議論の場となった。認定委員とのMTGは定期的に続けていきたい。

### ○フェアトレード大学の更新のための要件整理と申請テンプレートの整備

先の認定委員からの提言を受け取り、理事にて検討し、フェアトレード大学の申請テンプレートを整備しより認定に沿ったものに変更した。

### ○コロナ下の緊急対応として、更新審査でのオンライン現地調査を承認の可否

認定を行うために、現地への参加が難しい場合、オンラインで調査の可否を、認定委員に一任した。

○認定証デザイン検討・刷新、これまでの表彰状形式のものから、ユニバーサルデザイン・フォントの使用、FTFJのロゴ追加などによって、親しみやすいものにした。

5/14 青山学院大学認定時から使用

## (3) フェアトレード・スクールの表彰制度について

2019年12月の臨時総会において承認された「フェアトレード・スクール・プログラム」制度。今年度は準備期間となり検討を行った。運用を継続していくためのリソースおよび資金のめどが立たず、助成金も視野に入れたが、内容に適応する助成金が見当たらず、申請が保留となった。表彰制度については引き続き来期も検討を行う。

## 6) フェアトレードの理念を国内および地域社会に実現するための事業

FTFJ 主催のオンラインイベントおよび、各地のフェアトレードタウン（タウンを目指す団体）のイベントの後援や支援を行うことで、地域にむけて普及を行った。

（(1) フェアトレードタウン／フェアトレード大学運動の普及項目参照）

## 7) 責任ある消費の普及等、公正かつ持続可能な社会創りを目指す活動や運動と連携した事業

### **(1) 日本エシカル推進協議会等と連携した責任ある消費の普及**

社会全体をエシカルなものへと変革する「EX（エシカル・トランスフォーメーション）」をテーマとしたエシカル・サミット(日本エシカル推進協議会(JEI)主催)2021年2月8日～13日に参加。

### **(2) 「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」への参加**

2020年11月24日に開催された「企業のエシカル通信簿」を基に、オンラインセミナーにて参加。調査した42社のフェアトレードに関する取り組みの報告を行った。

## 8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### **(1) 定款の見直しのため臨時総会を実施**

定款の見直しのために10月20日に臨時総会を開催した。変更点は下記3点

○主たる事務所を「渋谷区宇田川町36番10号」から「渋谷区」に変更

主たる事務所が既に使われていない法人設立時の住所のままだったため変更した。

○今後認定業務が増えることを鑑み認定委員の委員数を増やし、任期を事業年度に合わせ管理をしやすいように変更した。

○議事録署名人について「選任された理事2名と監事」から「監事の承認、代表理事のみ」に変更し、議事録作成の手順を簡素化した。

### **(2) 組織体制の見直し**

2020年4月よりFTFJの団体正会員でもある「特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会」に事務局業務を委託していたが、コロナ下で運営体制を見直し、契約期限である9月末日に終了とした。財政再建の目的が立つまでは、理事役員により運営を行うこととし、事務局は特定の組織内に置かず、事務局の所在は、11月から渋谷区神宮前のシェアオフィスとして、利用を開始した。

新たに、顧問という役職を設置、9月21日に理事会にて内規を作成し、11月18日に元理事であった、渡辺龍也氏に就任していただいた。

プロボノおよびインターンの積極的な活用を行った。5月よりSOU-MU-PJ（主に総務部門に携わる人たちのネットワーク）との連携をスタートし、現在、税理・会計・PRなどの専門家に参加いただいている。

### **(3) 組織財政基盤の強化**

主に事務局業務の効率を図るために、ITツールを積極的に組み込み運営を行った。Slackによるチャット活用、グーグルドライブによる資料保管、freee会計ソフトおよび銀行との連携、CRMツールとしてHubspot。非営利団体として申請を行い、PRの大手PR TIMESの無料使用が可能にな

った。今後も IT ツールは積極的に活用していく。

経費精算など内規を整えるなど、組織基盤を強化を推進している。

基本的な組織の基盤が整えられたので、2021 年度は財務基盤を強化すべく、取り組んでいく予定である。

以上